

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第6回総会議事録

平成24年4月25日

国際ファミリープラザ

事務局

ただ今から「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第6回総会」を開催いたします。私は、本日の司会を務めさせていただきます、鳥取県農林水産部全国植樹祭課大北でございます。宜しく願いいたします。

それでは、開会に当たりまして鳥取県知事平井伸治が御挨拶申し上げます。

平井知事

皆様こんにちは。本日は年度当初、連休を前にして大変行事が重なる中でお練り合わせをいただき御参加賜りましたこと、本当に感謝を申し上げたいと思っております。第64回全国植樹祭、いよいよもう1年余りに迫ってまいりました。まだ、日付は完全には決まってはいませんけれどもだいたい後1年1ヶ月、あるいはそのくらいの時期になるのではないかと思っておりますが、山口でもうすでに大会が間近に迫ってきています。来月の27日になりますけれども、山口県で全国植樹祭が開催をされることになりました。天皇皇后両陛下、特に天皇陛下の御体調の事が皆さん気遣われておりますけれども順調に御回復の途上であるというふうに報道されています。いずれにいたしましても、盛大な山口大会が行われようとしています。私達鳥取県も、もう1年余りに控えたわけでございまして、この20日に全国植樹祭のプレの植樹祭、鳥取県の植樹祭を行う事にしております。同じ花回廊を会場としまして、そこで1,500名の方を集めまして同じようなお手播きですとか、お手植えの模擬練習といいますが、ちょうど同じような事をですねやってみようと、例えば場所を動かすなどのリハーサル的な事にもなります。多くの、皆様にも御協力いただいてもう1年となりました全国植樹祭のお迎え準備を進めていきたいと考えております。

本日は、お忙しい中にも関わりませず、伊藤県議会議長または地元で開催地と言うことになります坂本町長やあるいは森安町長様、さらに森林関係で入澤会長、藤原理事長様、また加盟する内水面だとか学校関係や環境関係など佐藤会長また小谷会長、中島会長、木谷代表など多くの方々にお越しをいただきまして、この会議を開く事になりました。これから皆様に御審議をいただきたいと思いますが、今年度いっぱいかけまして準備を進めていく必要があります。年度が変わりますともうすぐ始まるということになります。ですから、今年のうちにはしっかりとした計画を作っていく事が大切でありますし、色んな演出があると思いますがそういう演出も整えていく、例えば音楽とかですね、子供達の踊りのパフォーマンスだとかそうしたことが望まれるわけでございまして、こちらの準備も進めな

ければなりません。

さらに、これはのちに続く緑化や緑の活動に続けていかなければならないわけでございます。昨年は海づくり大会が本県で開催をされました。それで、海洋資源、水産資源に対する関心がものすごく高まっています。それは、海だけではなくて森にも繋がることございまして、森は海の恋人、森も大切にしようというところに繋がってまいりました。来年はとっとりグリーンウェーブと名付け全国植樹祭をモデルとしてエコツアー国際大会、さらに都市緑化フェアを行う、こうしたものを複合的にして緑の波を鳥取県から起こしてこうとしております。そういう意味で、「美しい鳥」と書いた美鳥の大使があちこちで誕生し始めました。子供達を中心となってやってもらっていますけれども、すでに学校で苗木を預かるというスクールステイが始まりまして、つい昨日だったかとは思いますが、西伯というか南部町の方でライオンズクラブの方が、皮切りだったと思いますけれども、そちらの方でホームステイと言いますけれども70本程苗木をですね預かって頂く、その間預かった苗木をまた1年経ってこの本番の植樹祭に活用していくということになります。これは堂々とですね、緑を育てようという気運が県内に広まってきているわけでございます。お集まりの皆様は各界を代表するキーパーソンの方々ばかりでいらっしゃいます。是非、一貫性のものにならずに、全国植樹祭を通して鳥取は緑色だなあという、そういうイメージが出来るぐらい盛り上げていただければありがたいと思います。今日はその準備と第1段として総会を開催しますが、熱心な御討議を賜りましてこの年の計画作りを進めていただければありがたいと思いますし、体制を構築していただければありがたいと存じます。皆様の御協力を切にお願いを申し上げ、御健勝をお祈り申し上げます私の方からの挨拶に代えさせていただきます。今日はどうぞ 宜しくお願い申し上げます。

(～拍手～)

事務局

はい、どうもありがとうございました。本日は、34名の出席をいただき、定足数の過半数を超えておりますので、当実行委員会会則第9条第4項の規定によりまして、本総会が成立したことを報告いたします。また、御出席いただきました皆様につきましては、お手元に配布しております出席者名簿をもって出席者の御紹介とさせていただきます。

最初に参加の皆様の御同意をお願いしておきたいと思っております。この委員会は原則公開としております。さらに会議でのやりとりは、ホームページで公開いたしますので御承知をお願い致します。なお、本日お手元に小規模作業所で作りましたトッキーノせんべいとトッキーノをあしらったヒノキのコースターとボールペンを配布させていただいておるところでございますので、PRに使っていただければと思います。それでは、本日の議事進行役ですが、会則によりまして会長が議長となると定めておりますので、平井知事に議長をお願い致します。

平井知事

それでは、さっそく議事に入りたいと思います。本日の議題は、お手元の次第にございますように、1ページに書いてございますが協議事項として報告、決算さらに計画予算案などでございます。協議事項の3(1)、(2)とございます。まず、(1)の事業報告、決算報告につきまして、事務局から説明を求めます。

事務局

事務局次長の梅田でございます。3ページと4ページの御説明を致します。3ページは、平成23年度事業報告(案)でございます。まず、実行委員会の会議運営でございます。総会につきましては、本日お集まりの皆様方に昨年度は3回集まっていただきまして5月、11月、1月の総会を開催致しました。また、幹事会専門委員会につきましては、基本計画の委員会を3回、式典音楽の委員会を3回、テーマの選定、マークの選定、愛称の選定、ポスターの選定それぞれ1回ずつ、計9回の幹事会・専門委員会を開いていただきました。市町村との連絡調整会議につきましては、昨年8月をかわきりに西部地区で2回、東部で1回、中部で1回また県内部の横断組織としまして庁内横断組織を1月に、そして西部・日野地区の県の組織の横断組織、現地連絡会議を3月に開催致しましてあわせて6回の会議を開催いたしました。大会の広報につきましては、大会のキャラクターの公募・募集ということでテーマ、マーク、愛称、ポスターあわせて9,073件の応募・公募をいただきまして、これらを決めたところでございます。また、トッキーノなどの絵が入った幟、コースター、ボールペン、ピンバッジなどのPRグッズの作成を行いました。また、盛り上がりをもつ県民運動となるようにとっとりグリーンウェーブという名を付けて県民運動を始めたところでございます。先程、知事の御挨拶にもありました平成25年の3つの大会、全国植樹祭、都市緑化フェア、エコツーリズム国際大会に向けまして多くの県民が美鳥の大使となってこれを盛り上げていただくように展開を進めたいと思います。なお、PRとしてトッキーノ着ぐるみによるPRキャラバン隊というのを展開しておりますが、緊急雇用創出事業の基金を使わせていただきまして8人分の雇用を昨年度設けました。

続きまして、基本計画の策定業務でございますが、実行委員会総会で重ねて審議いただきまして、今年の2月8日に国土緑化推進機構主催の全国植樹祭特別委員会、衆議委員議長が議長を務める会議を経まして承認をいただいたところでございます。24年度はこれに基づいて実施計画、マニュアル作りに入るということとなります。その他、宮内庁との連絡調整などを行いました。

以上の事業を終えまして、昨年度かけてまして大会の基本的な準備を終えたことから、事務局がありました全国植樹祭準備室はこの4月をもって全国植樹祭課という事にしていただいたところでございます。

続きまして、4ページの23年度収支決算案でございます。収入の部は、昨年度22年

度からの繰越金、そして県の負担金、預金利息を加えまして、決算額 29,526,586 円でございます。

支出の部でございます。会議運営費、こちらは実行委員会、幹事会、専門委員会の運営費ということで旅費や報償費、会場借上料を支出致しましたが、委員の皆様方には狭いようで大変御不便をおかけ致しましたが県庁の会議室を使うなどしまして会場借上料など安く上げてまして出費を押さえたところでございます。また、大会広報費と致しまして、ここで PR グッズの作成に務めました。また、基本計画等の策定業務費というのは業務委託料が主でございますが、大きなものとしては基本計画の作成業務費など 400 万円余り、それからお野立所の設計業務費など 2,814,000 円余り、その他ベンチの作成業務委託などをしたところでございます。

また、事務局の運営費といたしましては予算額に対しまして、県内のトヨタ、それから日産のディーラーさんからリースで車の協賛提供をいただきまして、お陰様をもって予算額よりも決算額が低く押さえられたところでございます。

しめまして、決算額としまして 22,937,431 円でございます。収入の部との差引あわせて 6,589,155 円につきましては、24 年度に繰越しをさせていただきたいと思っております。23 年度事業報告収支決算以上でございます。宜しく御審議をお願いします。

平井知事

それでは、引き続きまして本決算について監査報告を求めます。中島会計管理者お願い致します。

会計管理者

失礼致します。監事をしております県の会計管理者の中島でございます。宜しくお願い致します。それでは、監査報告をさせていただきます。去る 4 月 18 日、鳥取県庁におきまして平成 23 年度収支決算書につきまして、その収入及び支出につきまして帳簿及び関係書類を監査した結果、いずれも適正に処理、記載されていたということでございましたのでその旨を御報告申し上げます。宜しくお願い致します。

平井知事

ありがとうございました。以上決算と実績の報告につきまして何か御質問、御意見ございますでしょうか。もし無いようでしたらそのようにさせていただいてもよろしゅうございますでしょうか。

(～拍手～)

それでは、原案の通りといたします。次に、平成 24 年度の今年度の事業計画と予算につきまして説明を求めます。

事務局

それでは、資料6ページを御覧下さい。あわせて資料の最後に折り込みで付けております今後のスケジュール案につきまして御説明をいたします。まず、事業計画案でございます。実行委員会等会議運営につきましては、この総会で年3回、本日を含めまして3回開催したいと思っております。4月と9月と1月でございます。次の会議の9月につきましては、実施計画の中間検討ということで御審議をいただきます。また3回目になります1月の会議では、実施計画の案、鳥取県としての案を策定していただきまして翌2月に行われます国の特別委員会にて実施計画の決定を行いたいと思っております。幹事会専門委員会につきましては、大会計画の幹事会を中心に開催をしていきたいと思っております。大会計画の策定につきましては、9月の中間検討までに大方のところを作りあげまして、後半は各種マニュアルの作成に入りたいと思っております。また、宿泊輸送につきましてもあわせて諸準備を進めたいと思っております。また、今年度は大会当日に配ります公式弁当の宣伝というのを年度初めに行いたいと思っております。ただ今、来月5月7日までの締め切りで公式弁当のイラストコンテストというのを募集しております。昨日現在で148件の応募があったというふうに聞いているところでございますが、来月5月には審査、試食というふうに運びたいと思っております。また、音楽・式典の内容につきまして、専門委員会を設けておりました出演者の選考、それから楽曲、演出などの内容の検討をしているところでございまして、今年の夏には、参加して頂ける方の合同練習が始められるように進めたいと思っております。

また、市町村の方々との連絡調整会議につきましては、昨年に引き続きまして東部、中部、西部と開催していきたいと思っております。大会前年度の諸準備をともに図っていきたく思っております。また、夏を目途にしまして大会の実施本部を設置したいと思っております。あわせて夏頃にボランティアセンターというものも設置したいと思っております。

次に大会の広報でございます。最初の御紹介にもございましたが、1年前のプレイベントということで来月5月20日にプレ全国植樹祭を開催致します。また、カウントダウンイベント、地域緑化イベントと称しまして開催日が決まります、今年の秋以降、順次半年前・3ヶ月前の節目にカウントダウンイベントを開催したいと思っております。また、あわせて前回総会で御説明致しましたが、苗木のステイとか市町村でリレーしていただきますリレー植樹もあわせて広報の一環として行いたいと思っております。

実施計画の策定業務につきましては、前回総会でお認めいただきました乃村工藝社・日本海テレビジョン様の共同企業体に対して委託契約を結びまして、今年度業務を行う予定にしております。宿泊輸送計画につきましては、JTBと契約を結んで進めていくことにしております。具体的なところを詰めていきますが、発注にあたりましては、地元企業を優先に務めていきたいと思っております。

次に、会場整備でございます。昨年23年度で設計を終えましたお野立所の建築にいよいよ入ります。来年の春には、花回廊を会場にお野立所の建物が現れるというふうに進め

たいと思っております。また、会場の整備としましては、プレ大会が終わった後ですが、会場の芝張りとか、それから園を走りますバスの周回路の整備、また植樹祭の作業道などの設置を進めたいと思っております。本年度につきましては、あわせて大会への民間企業の皆様方にも協賛の推進ということで資金や募金の協賛のお願いをしたいと思っております。

めくっていただきまして、7ページでございます。収支予算の案でございます。収入の部につきましては、23年度からの繰越金、そして県の負担金あわせまして、今年度の予算額153,490,000円を収入の予算とさせていただきたいと思っております。また、支出の部でございますが会議運営費といたしましては、引き続き諸会費の準備予算としまして2,442,000円、そして大会の広報費といたしまして、PRグッズの作成費などに加えましてプレイベントの実施経費それから大会の記念誌を作成するための取材など映像などの作成費用を含めまして29,225,000円、そして大会計画の策定業務としましては実施計画宿泊輸送に加えまして、ベンチの作成経費などを加えまして1億1,430万円余りを計上させていただきたいと思っております。事務局運営費につきましては、引き続き節減に務めますが今年の夏に設置したい、ボランティアセンターの設置費用を含めまして、751万円余りを計上させていただきたいと思っております。しめて支出の部分153,490,000円の予算案でお願いしたいと思っております。

平井知事

以上、説明がございました。ただいま説明がありました計画、そして収支予算案につきまして、御意見、御質問いただければと思います。どなたでも結構でございます。

佐野委員

予算についてなんですけど、昨年度の決算もそうなんですけれども、負担金がこれ1件だけになっているんですけれども国とか、あるいは広告収入とかそういうのは一切無いということで理解してよろしいのでしょうか。

事務局

負担金につきましては、県だけの負担ということで、国からはございません。ただ、国土緑化推進機構という中央の団体がございまして、こちらの方から協力金という形で色々な形で支援がいただけると聞いておりますし、苗木の購入代についても緑の募金の経費とかいうことで支援をいただくように進めていっております。また、協賛金につきましてはまだいくらというのがお話しできませんが、更なる充実した大会の実現を目指す為に、皆様方をお願いしてまいりたいと思っております。いただきましたら、更なる充実ということで予想以上の成果をあげたいと思っております。

佐野委員

また、後で質問します。

平井知事

どうぞ。

佐野委員

収支決算に出てくる組織。

平井知事

収入の方は、予算に計上してなくても入るお金はこれくらいというのが予算決算でございまして、役所的な予算の作り方でありまして。先生の御指摘のように、ほとんど県の支出のみにどうしてもなります。海づくり大会も同様でありましたけれども、だいぶん簡素にしましたが出来上がりに不満はなかったのですが、過去に例がないくらい小規模で、お金の面では今回も出来るだけですね、効率的な仕組みにしていきたいなということでございます。その他いかがでございましてでしょうか。もし無いようでしたらそのようにさせていただきますと思います。

(拍手)

ありがとうございました。それでは、残る協議事項につきまして事務局から説明を申し上げます。

事務局

続きまして、8ページを御覧下さいませ。今年度、幹事会に委任する事項の御承認をいただきたいと思っております。今年度の幹事会での委任事項としまして、大会公式弁当の選定に関するをお願いしたいと思っております。下の方に参考と書いておりますが、過去に委任された事項の内、大会計画の策定に関する、それから、専門委員会の式典音楽検討専門委員会につきましては、引き続き本年度も幹事会、専門委員会をお願いしたいと思っております。

次に9ページをお願い致します。当実行委員会の会則の一部改正でございまして。会場に近いところで現地の準備もしっかり行う為に、この4月1日をもって実行委員会の事務局を西部に移転致しました。あわせまして、事務局の体制も整備ということで西部総合事務所の農林局長に私共の参事監になっていただきましたが、さらに総合事務所を中心とした連携強化の為に鳥取県の西部総合事務所長及び日野総合事務所長に実行委員会の中の役職にあたっていただくという会則の改正でございまして。幹事会につきまして、幹事長である農林水産部長に加えまして西部担当幹事ということで西部総合事務所長と日野総合事務所長になっていただくという案でございまして。また事務局の上に事務総長という形で農林水産部参事監、西部の農林局長が兼務されますが、こちらに入っていたかどうかという

ことでございます。また別表でございますが鳥取県観光事業団の一般財団法人化に伴いまして委員の名称を一部修正でございます。以上でございます。

平井知事

以上は、幹事会への委任、それから会則の改正につきまして御提案がございました。

皆様の方から御意見御質問はございますでしょうか。もし無いようでしたら、事務的な事でございますのでそのようにさせていただいてもよろしいでしょうか。

(～拍手～)

ありがとうございます。それでは、以上で本日の協議事項は終了となりますが、この際、皆さんの進行状況について事務局から報告をさせます。併せてその後ですね、皆様せっかくの機会でございますので、意見交換をさせていただきたいと思えます。まず、報告事項全体につきまして一括して説明をお願い致します。

事務局

全国植樹祭課の近藤でございます。資料の10ページをお願いします。資料7、実施計画書等作成業務の委託契約につきまして報告を致します。1月24日に開催しました第5回実行委員会総会におきまして随意契約の承認をいただきました乃村工藝社・日本海テレビジョン放送共同企業体と契約を致しました。契約期間は、以下の通りでございます。今年度24年度分の契約ということでございます。25年分は別途また契約をしたいというふうに考えております。委託金額につきましては、約6千万円でございます。見積額に対して、約94%で契約をしていくところでございます。今年度の準備の方向性ですけれども飾花の見直しによる会場整備であるとか式典音楽隊が約250名規模で行う、あるいは演出につきまして、みどりの少年団による集団演技約200名規模で行うなどということで方向を定めております。加えまして、JVから昨年度提案をいただきました通り、鳥取市鹿野町の方で活動をされております「鳥の劇場」であるとか、あるいは「県内自慢の食」であるとか鳥取県らしさを演出していきたいというふうに考えております。以上です。

事務局

続きまして、11ページを御覧下さい。全国植樹祭課の田中でございます。どうぞ宜しくお願い致します。11ページ資料8でございます。宿泊・輸送等業務の委託契約締結について御説明申し上げます。今年の2月に策定した基本計画に基づきまして宿泊・輸送業務等を受け持ちます業者の選定のため公募型プロポーザルを実施いたしました。その中で提案がございましたのが、この資料にあります通り参加表明社1社、株式会社JTB中国四国でございます。その内容につきまして、幹事会で審査いただいた結果、審査講評のポイントを基に2点程書いてございますが、このような評価を受けまして、そこに書いてありますように、4月23日付けで平成24年度契約を9,993,060円で締結いたしましたところでござ

ございます。なお、平成25年度につきましてまた別途の契約でございます。報告については以上でございます。

事務局

濱本です。資料12ページをお願いいたします。総会の方から委任されました式典音楽の検討状況でございます。音楽専門委員会では、資料のように県内の音楽関係の皆様から委員に就任していただきまして、委員長には米子市文化協議会の小谷会長さんになっていただいております。検討状況でございますが、1月30日、3月14日、4月24日の3回検討しておりまして、式典音楽隊の編成につきましては、西部地域を中心に出来る限り幅広い範囲または年齢層で編成していきたいと、それから式典音楽の構成につきましては、吹奏楽隊と合唱隊と100人~150、120人規模で編成して全体で250人位の規模で編成したいというふうに考えております。それから式典アトラクションにつきましては、弦楽オーケストラ、弦楽の方の起用を検討したいと考えております。それから式典音楽の実際の選曲ですけど、選曲の方針といたしまして、鳥取県は唱歌・童謡の作曲家、音楽家を輩出しておりますので、そういうことを発信出来るように鳥取県出身の作曲家、音楽家による曲などを含めて式典音楽を選曲したいと思っております。一部の曲は採譜、自然の形からメロディーを取りました採譜というものを基にした音楽、オリジナル音楽を作っていきたいと思っております。今後ですが、音楽と文化団体の方の参加を仰ぎまして音楽と同時に演出の方も検討していきたいと思っております。

事務局

池内でございます。では、13ページ式典会場の飾花について御説明致します。今回の全国植樹祭これは全国県内で参集していただきます5,000人の招待客の皆さん、そしてTVで全国放送されるということでございましたので、鳥取県の素晴らしいところをPRしていただくという、こういう機会でございます。ですので、この会場のこの飾りにつきまして県の担当課や花回廊さん、皆様のお知恵をいただきながら現在検討中でございます。下のところのデザインは、これは今の下書きでございます。式典会場の周囲これを花で囲おうとゆうことにしております。テーマとしましては、手入れの行き届いた里山の初夏というイメージでございまして、手前の式典所の手前のところに2013鳥取とございます、この辺りの花は、パンジーというのをを使いまして背丈の低いもの、そして、お野立所の方に向かいまして徐々に背丈を上げていきましてお野立所の最後の辺りには、人の背丈くらいの花を使いまして花を盛り上げるということで、ここを歩かれますと両陛下の全身が花で包まれるようなそういった演出を考えています。特に、この中に2点ポイントがございまして、まず1点は、このお野立所の前面、ここにキューケンホフ公園との友好の証チューリップ tottori、これを配置いたしまして、ピンクの可愛い花でお出迎えをするというもの。そしてもう一つは、式典所のサイン、花回廊を代表します花ユリ、これを配置いたしまし

て、爽やかさを演出していきたいと考えております。さらに、右下に小さく絵を描いておりますが、式典所の入り口のところにいらっしやいませと 5,000 人の皆様をお出迎えするトッキーノの花で作ったパネル、これをここに置かして華やかさを演出したいと考えております。

事務局

資料の 14 ページをお願いします。第 63 回全国植樹祭これは山口県大会でありますけれども、リレーセレモニーが行われます。5月27日きらら記念公園にて行うことになっております。

(BGM 流れる)

このセレモニーの中で、二井関成山口県知事から平井伸治鳥取県知事に大会シンボルを引き継がれます。式典中は、「大山賛歌～わが心の山～」を BGM として流します。それから、平井知事の挨拶は約 1 分 30 秒ございますけれども大型モニターに約 70 秒間鳥取県の紹介映像を流します。そこに入る BGM は、県民歌「わきあがる力」ということで、現在流れております。映像につきましては、日本海テレビさんに作っていただきましたところでございます。

(BGM 流れる)

以上の映像で鳥取県を PR していきたいというふうに考えております。

続きまして、15 ページをお願いします。第 64 回全国植樹祭のプレ植樹祭につきましてですけれども、先般の総会でも報告事項として一度報告しておりますし、平井知事の挨拶の中にもありますように内容的には記載の通りでございますので、説明を割愛させていただきますが、県の植樹祭は全国植樹祭を模したような体系で実施したいと思っております、委員の皆様も足を運んでいただきまして全国植樹祭のイメージを感じ取っていただければ幸いです。是非、お越しいただければというふうに思いますので宜しくお願いします。以上です。

平井知事

以上報告でございました。また、この報告に関することでも結構でございますし、せっかくの機会でございますので、これ以外の事でも結構でございます。どしどし御提案なり、御意見なり、御質問なり頂戴できればと思います。

入澤委員

山口のきららで行いますリレー式典の映像の中に鳥取県のいろいろな所がありました。その中に山の木というのがありません。せっかくの植樹祭ですから鳥取県のこんなところがありますとか、そういうものを是非その中に入れていただきたいと思います。

事務局

会長が言われました通り、大山の風景とかそういうことでございまして、森林とか木とかそういったものが入っていない。例えば智頭の慶長杉であります、そういったもの・・・

入澤委員

是非。

事務局

是非入れるように検討させていただきたいと思います。

平井知事

その他いかがでございましょうか。

伊藤県会議長

前回の植樹祭が大山でありましたね。何年でしたでしょうか。

事務局

昭和40年です。

伊藤県会議長

その時にね、お手植えのマツがありました。平成11年の全国育樹祭が鳥取であった当時、お手植えのマツがどうなっているのか尋ねられたことがありまして。これからもそういったことがあるかも知れないので、生育状況その他を確認しておいた方が良いでしょう。今、確認はされていますか。

事務局

今、県有林の方で管理しております。地上散布、松くい虫防除の散布もしております、お手植えの昭和天皇の3本、香淳皇后3本、計6本のアカマツについてはお手元ですね、基本計画概要版の9ページ、ちょうど天皇陛下アカマツという写真があるかと思うんですが、そこにお手植え樹ということで標柱と白い柵もしております、草刈りなんかもし、整理して綺麗にしているというところがございます。生育状況につきましては、3本の違いはあるんですけれども、健全に成長はしているかというところがございます。

平井知事

その他いかがでございましょうか。今日は、地元の町長さん初めて全部揃いましたけれども、坂本町長さんいかがでしょうか。

坂本南部町長

地元も初めて来ていただけるということで非常に期待をしております。花なども沢山飾って盛大にお迎えしたいと思っております。私、以前話をしたことがございますけれども、この会場の図面がありまして12ページ、大山がこんなに綺麗に見えないと思うわけなんですよね。これは、絵ですから立派に書いてありますけれども、あそこ結構、藪になっておりまして近くなってから木を切るというのも何ですけど、早めに手入れしておかないと大山がこんなに綺麗に見えない、上のほうがちょっと見えるくらいになりますので、今頃からちょっと整備されておいた方がいいのではないかというふうに思います。以上です。

事務局

確かにあの雑草のこの辺が藪状態になっておりまして、その辺を透かして見えるように綺麗に整備をしていきたいというふうに考えております。

森安伯耆町長

伯耆町も一緒になってやるわけですので、その沿道を皆さんが通られる所の景観をあげていかなければならないという気持ちが非常に強くて、枯れ松も確認されますし、それから下が全部茂っている状態の所もあります。そういうところを県と調整をとりながら計画的に綺麗にして行って、一番いい状態でその日が迎えられるように頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

竹内江府町長

江府町長の竹内でございます。江府町は植樹会場ということで、約500人程度のお客さんをお迎えするようになっております。整備計画が載っていますけれども、元々が原野でございますので、もう1年先ということになれば、徐々に具体的な整備計画といえますか、そういうものが出てきて欲しいなあという、多少焦りに似た状況も正直いって感じておりますので、今後24年の事業の中に載っているとは思いますが、現場での整備計画というものを、それと実施計画というものが欲しいなあという気がしております。一生懸命頑張っていきたいというふうに考えております。

事務局

まず、森安町長のおっしゃいました沿道景観につきましては、県の方でも森林林業総室の方で予算化をしております。また、そちらの方とも、またあるいは行幸啓の関係もございますし、それらとも調整しながら景観整備を調整していきたいなあというふうに考えております。また、江府町さん、竹内町長さんがおっしゃられたこととございますが、現在

も鏡ヶ成の整備計画につきましては、役場さんとか地元の中学校や小学校やあるいはサントリーさんとかも絡めたところでお話をさせていただいております、今年度はセレモニー的にリレー植樹を秋口にやってみようじゃないかというような話もありますので、また相談させていただけたらと思っております。

平井知事

今、三町長さんからお話をいただきました。確かにちょっと今頃、事務局体制としてそうゆうイベントの方に目がいつているように思いますので、今回、総合事務所林所長と山根所長と出席いたしておりますが、地元とですね、地元の三町長さんをはじめ地元の皆さんと一緒に見て景観ですね、例えば、大山が見える景観がどうだとか、マツが枯れているとかそうゆう状況がないだろうかとか、また地元の方の色々な思いもあると思いますので地元を交えて説明会をやったり1日点検をすることも至急ですね、やってもらった方がいいと思いますので事務局の方で考えてもらいたいと思います。事務局だけではなく総合事務所、両総合事務所もあわせて地元に入ってですね、基本的な整理であるとか、それからこうゆう計画で動いていますという説明を御意見もあろうかと思っておりますので御意見を伺うとか、これからよく、実行委員会として調整を図ってまいりたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。その他いかがでしょうか。どんなことでも結構でございますが、せっかくの機会でございますので、よろしゅうございますかね。私も一つ質問があるのですが、さっき本番の時にですね、お野立所を作る時にチューリップの **tottori** というキューケンホフ公園で開発をされまして世界的に評価されたものですが、チューリップ **tottori** を両陛下のメインの所に設置をしたいというような話がありました。5月の末頃になると思えますけれども、そんな都合の良い時期に都合良く咲くものかなと。その辺を教えて欲しい。

西山幹事長

お野立てのチューリップというのは実は昨年、秋にじゃっかん手に入れておまして、とっとり花回廊は1年間花を咲かせるところでございまして、そのあたりをベースにして試験をはじめております。何段階か冷やしたり冷凍したりというようなことをして、期間をずらしながらテストをして成功させていくということでございます。

平井知事

そしたら鳥取県の威信をかけてチューリップの花をと・・・。
その他いかがでございましょうか。もし、無いようでしたら。
はい、どうぞ。

佐野委員

樹種の選定をやらせていただいたのでお聞きしたいのですが、今回は会場が花回廊と鏡

ヶ成と全く違った場所2カ所を選んだ訳なんです、花回廊の方は里山ということで人間と自然との接点としての場所ということで里山特有の樹種を選定し、鏡ヶ成の方は、自然の森に返すということで、自然植生の中から選定していったということで、意義と目的を分けて選定できた。機会があれば、両陛下にお見せできればと。もう一つは、チューリップでも良いのですが、なるべく地元の花を入れた方がより鳥取県らしいかなというふうに思います。もう一つ、天皇皇后両陛下の個人情報になるかも知れませんが、花粉に対するアレルギーは大丈夫でしょうか。

事務局

いやしの森、それとめぐみの森の植樹会場でございますが、その様子につきましては、陛下への御説明の中に交えたいと思っております。また地元の花の活用につきましては、先程御説明いたしましたステージ前の花の検討を今年度始めたところですので、その中で十分配慮したいと思っております。また花粉につきましては、引き続き情報収集に努めたいと思っております。

平井知事

どうもありがとうございました。熱心な御審議をいただきまして滞りなく議事を進めることが出来ました。今年度から準備の正念場でございます、今年度をあけると本番ということになります。各委員の先生方も御協力と御支援を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。

すみません。どうぞ。

連合婦人会（代理委員）

映像を見せていただいた時の BGM なんですけれども、県民歌「わきあがる力」が流れたと思うんですが、個人的には甲子園のイメージといたしますか、力強くてもうちょっと自然の例えば、鳥のさえずりではないですが、あまり県を強調しなくても BGM 的に心地よい音楽でもよいのではないかなとちょっと思いました。

事務局

すみません。これにつきましては、4月15日に総合リハーサルがございまして、こちらから代役、鳥取県知事の代役を立てて「大山賛歌」と「県民歌」とが流れたわけなんですけれども、私、個人的には非常にいい感じだなあとというふうに思っております、やはり鳥のさえずりの中で知事が挨拶をするというよりも力強い鳥取県らしい BGM として曲のバックに知事が挨拶をされる方が良いのかなと。これから選曲しますと、山口県さん大変な事になるかと。

宜しくお願い致します。

連合婦人会（代理委員）

分かりました。

事務局

宜しく願いいたします。

平井知事

本番が控えております。本番の方はですね、先程も入澤会長からもお話がございましたし、色々な御意見があろうかと思いますが、もっとですね練りに練って素晴らしい演出になるように発表させていただきたいと思います。

それでは、閉会にあたりまして副会長の伊藤議長から御挨拶をしていただきます。

伊藤県会議長

では、みなさん熱心な御討議ありがとうございました。なんといっても花回廊というのは、造る段階から大山を意識した花回廊だったように思います。あの借景の素晴らしさは、全国のフラワーパークが10年も経てば・・・という状況で、その中でも鳥取県の花回廊は全国でも素晴らしい景観を備えながら続いているというような評価を得ています。その大変な場所で植樹祭メイン会場があるということは、言ってみれば、天候と大山が見えるということが大体のカギになると思いますが、そこに平井知事の日頃の行いが加われば。

皆様、あと1年ばかり全国植樹祭の意義を十分に認識いただいて、この実行委員会、全国植樹祭の成功を期待したいと思います。今日はどうもありがとうございました。

（～拍手～）

事務局

ありがとうございました。以上をもちまして、第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会、第6回総会を閉会致します。ありがとうございました。

（～ありがとうございました。～）